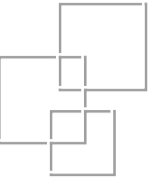


12月定例会では、11月30日と12月1日の2日間にわたり12人の議員が一般質問を行い、太田市政の現状や将来に対する方針などに関して活発な議論を展開しました。紙面の都合により、質問した議員に確認の上、1問を選び、質問と答弁の要旨を紹介し... 詳しいことは、議会事務局(☎0276-47-1806)までお問い合わせください。



市民の安全・安心を守る対策 —高齢者を犯罪から守る対策 について—



創政クラブ 高田 靖

議員 少子化や核家族化、高齢化などを背景に一人暮らしの高齢者が増加傾向にあります。本市における75歳以上の一人暮らし世帯数の状況とその推移を伺います。

健康医療部長 国勢調査の結果によると、平成17年が1814世帯、22年が2543世帯、27年が3399世帯です。

議員 本市において高齢者が被害者となった振り込め詐欺などの特殊詐欺の認知件数、被害総額の推移を伺います。

総務部長 太田警察署の資料では、27年が19件、6960万円、

28年が23件、3380万円、29年が16件、2270万円です。
議員 本市ではどのような特殊詐欺対策を行っているのか伺います。

総務部長 防犯協会による青パトでの広報活動のほか、市ホームページや安全・安心メールでの注意喚起、啓発ポスターの掲示、警察の防犯イベントに合わせた啓発リーフレットの配布などを行っています。

議員 連日のように特殊詐欺被害が報道されています。対策として、不審な電話に対しては通話内容の録音が有効とされて

います。通話内容の録音機能を有した電話機や録音機器の購入費用の補助や、機器の無償貸与をすべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 高齢者における特殊詐欺被害は減少傾向にはありますが、それでもいまだに被害が発生しています。対策としては、やはり通話内容を録音するとうい警告が一番の抑止力となると思います。来年度、通話内容の録音機器等をできるだけ多くの希望者に貸与できるようにしたいと考えています。

その他の質問
・児童・生徒を犯罪から守る対策について
・交通事故から市民を守る対策について
・放課後児童対策について

所有者・管理者等の所在が不明な土地・建物について



創政クラブ 今井 俊哉

議員 所有者不明の土地の増加は全国的な問題です。藪塚地区の六千石町に面積が3千平方メートル近い所有者による管理がされていない土地があります。この問題への対応状況を伺います。

産業環境部長 職員が現地確認し、土地所有者の法人に対して適正に管理するように2度通知を郵送しましたが、会社の実態がなく返送されました。市による除草等はできないため、1%まちづくり事業による除草を

していたいでいます。
議員 市街化区域内の空き地は市条例により、立ち入り調査

や管理の代行ができますが、市街化区域外の空き地には適用されません。また、空き地に危険があれば、所有者と連絡が取れない場合でも市が自主的に対応できるように条例改正すべきだと思いますが、所見を伺います。

産業環境部長 市街化区域外にも適用できる条例に改正する必要がありますが、市の自主的な管理の代行は、代行費用が徴収できない場合に市民の理解を得られず、難しいと考えます。

議員 所有者や管理者が不明な空き地についても、倒壊等の危険性が予見されます。これら

への対応を伺います。
都市政策部長 法律の通り、所有者に代わって特定空家等の除去をする略式執行や、市が財産管理人の選定を申し立て、特定空家等の処分を図る財産管理人制度で対応します。

議員 空き地等に危険がある場合には、土地所有者と連絡が取れなくても、市がもつと能動的に対応すべきと思いますが、市長の所見を伺います。



公明クラブ 高橋 えみ

スマートフォンを活用した 公共サービスの提供について

議員 平成29年のデータでは群馬県内のスマートフォンの普及率は約8割に達しています。本市におけるスマートフォンを活用した公共サービスの提供について、取り組みの現況と課題を伺います。

企画部長 スマホ版の市ホームページのほか、マチイロという無料の広報紙アプリを導入しています。課題として、ホームページは全ての情報を網羅するためには欲しい情報にたどり着くために手間が掛かることと、広報紙アプリは導入からまだ1年程度のため、認知度を高める必要

があると考えています。
議員 観光や防災、健康、福祉など、住民や観光客が便利な情報をすぐに取り出すことのできる行政アプリの導入が地方自治体で進んでいます。アプリの機能であるプッシュ通知などを活用すれば、情報をリアルタイムに伝えたい人に伝えられるという利点もあります。市民にとっても情報を取り出しやすいため、興味を持ってもらえるきっかけにもなると思いますが、所見を伺います。

企画部長 観光アプリ、ごみア

プリなど、スマートフォンのアプリが活用されている業務については、各業務の担当課において既に研究を始めています。各業務のアプリを統合する自治体アプリの導入については、各業務担当の意向や費用対効果を含め、引き続き研究していきたいと思えます。

議員 自治体アプリを導入し、市民への情報提供やサービス向上を図るべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 費用対効果や、アプリを導入することで、現状の情報提供方法でカバーできていない部分をどのくらい補うことができるのか、相対的に検討していきたいと思っています。

その他の質問
・市民の健康を促進する食育の取り組みについて

(仮称)新田地区複合公共施設 建設事業について



太田クラブ 大川 敬道

議員 (仮称)新田地区複合公共施設の事業概要と進捗状況について伺います。

企画部長 人口減少や少子高齢化が見込まれる中で、老朽化した施設の再編・統合により、新田地区のみならず本市の所有する施設全体の総量削減を図ることが目的です。また、併せてこれまで以上にたくさんの人が集える魅力を付加した施設を目指しています。進捗状況は、今年度中の基本構想策定をめどに、アンケート調査等を実施しているところ

です。
議員 その事業地にプールを

建設するという計画について所見を伺います。
企画部長 現在は施設そのものの建設を優先して行っており、プールは複合施設への導入の候補のひとつとして検討しています。

議員 地域からは、障がい者窓口や原動機付き自転車のナンバープレート交付窓口の設置、グラウンドゴルフや野球ができるグラウンドの整備を望む声が届いています。こういった要望等の計画への反映方法を伺います。

企画部長 新田地区の公共施設

利用者を対象としたアンケートや無作為抽出による市民アンケート、新田地区におけるワークショップなどでの要望や意見を参考として、市民に必要と思われる機能を持たせるように検討したいと思えます。

議員 この複合施設にグラウンドの整備や原動機付き自転車のナンバープレートの交付窓口を設けることについて、市長の所見を伺います。

市長 経常経費の削減のためにも、新たに整備するのではなく、既存施設の有効活用で対応すべきです。ナンバープレートの交付窓口については、あえてこの施設に設置する必要はないのではないかと考えています。

その他の質問
・今後の財政運営と行財政改革について